

## 令和6年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画				令和5(2023)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和6(2024)年度事業計画	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.								事業の概要		
教育 改革 プロジェクト	①QSP科目群としての授業の提供、または共同開発(期間中に5科目以上) ②共同FD・SD(短大系含む)の実施(期間中に15回以上) ③共同研究の実施(期間中に10件以上) ④共同IRによる共通調査等の実施(期間中に5件以上) ⑤高大接続事業(共同訪問、共同説明会等)の実施(期間中に5件以上) ⑥地元就職支援に係る地元企業との連携事業(期間中に5件以上) ⑦リカレント教育の講座等の実施(期間中に10件以上)	A・QSP科目群創出WG(国際大)	A-1	・教材開発、教材データベース	・第1期QSPにおいて構築した教材データベースを発展させ、これからの時代に求められるデジタル人材の育成に資する情報教育や、地方創生に貢献する上で基盤となる地域の学びに関する内容につながる教材の開発と教材データベースの構築を行い、それらが参画校の授業の中で活用される仕組みづくりを目指す。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	デジタル社会の進展で、デジタル人材育成は、その重要性は一段と増している。また、データ活用が一層重視される中、文理を問わず情報教育が行われることが求められる。データサイエンスやプログラミングなどに苦手意識を持つ学生も学びに活用することのできる教材の作成について、他のWGとも協働で取り組むことも踏まえた参画校との検討を進めている。	・これからの時代に求められるデジタル人材の育成に資する情報教育や、地方創生に貢献する上で基盤となる地域の学びに関する内容につながる教材の開発と教材データベースの構築を行い、それらが参画校の授業の中で活用される仕組みづくりを目指す。取り組みを発展させるため、他のWGとも協働で取り組むことも踏まえた参画校との検討を進める。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	・これまで構築した教材データベースを発展させ、参画校の中で共同利用できる仕組み作りの検討を行う。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校間で協議・検討する。	・参画校の中で共同利用できる仕組み作りの検討を継続し、利用の促進を図る。 ・教材開発、教材データベースに掲載するコンテンツ作成について参画校へ依頼し、開発支援を行い、順次掲載、公開に取り組む。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。			
			A-2	・単位互換	・各参画校で相互協力・単位互換が求められる授業科目について、ニーズを把握する。また参画校に在籍する学生の多様な学びに対する希望を実現することができるよう、既に佐賀、長崎で構築されている単位互換制度との連携も図りつつ、特に教養教育の分野において各参画校のもつ教育の強み・シーズを拡大活用するためのネットワークを整備し、それらをQSP全体で共有することで、教育の質向上につながる単位互換制度を目指す。 ・「西九州探究」に関連する科目を、各参画校が提供し、相互に利用できるような共通科目群として整備することについて協議・検討する。	各校の学生が学びやすい環境を整えるため、また多様な学びができるような科目構成が構築できるプラットフォームとしての基本的な制度設立に向けた準備に着手しており、本取組の課題等の検討、論点整理を踏まえ、参画校での協議を進めている。	・各校の学生が学びやすい環境を整えるため、また多様な学びができるような科目構成が構築できるプラットフォームとしての基本的な制度設立に向けた準備に取り組み、今後、本取組の課題等の検討、論点整理を踏まえ、参画校での協議を進めていく。 ・「西九州探究」に関連する科目を、各参画校が提供し、相互に利用できるような共通科目群として整備することについて協議・検討を進める。	・QSPとして多様な学修機会を提供するための単位互換制度の実現を目指し、各参画校と連携した検討を行う。 ・「西九州探究」に関連する科目の創出に取り組み、参画校間での単位互換ができるよう制度の整備を協議・検討する。	・長崎、佐賀両県の既存の単位互換制度の活用策を含めた多様な学修機会を提供するためのQSPとしての取り組みを継続して検討を行う。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。			
			A-3	・西九州探究(長崎学、佐賀学)	・QSP参画校が所在する九州西部地域における地域の魅力発見を発見したり、地域の課題を知ってその解決に寄与し得る人材の育成のため、多様な分野の横断的学修ができるような授業科目群の創出を目指す。 ・また地域課題を探索するため、地方公共団体や産業界と連携した参画校協働の研究活動の実施を目指し、他WGとも連携した取り組みができる体制を整備する。	A-2「単位互換」導入に向けた取り組みに合わせ、西九州探究に関連する学びができる授業科目の設置に向けた検討がまだ不十分であるため、参画校と議論を進めている。	・A-2「単位互換」導入に向けた取り組みに合わせ、西九州探究に関連する学びができる授業科目の設置に向けた検討を参画校と一体的に議論を進めていく。	・「西九州探究」に関連する科目の創出、導入を目指し、各参画校と連携した検討を行う。 ・地域課題の探索を参画校、関係団体と連携し研究活動の実施に向けた体制の整備について検討を行う。	・「西九州探究」に関連する科目の創出、導入を目指し、各参画校と連携した協議を継続して行い、授業科目の構成、シラバスの検討等を行う。 ・地域課題の探索を参画校、関係団体と連携し研究活動の展開を支援する体制の整備について検討し、取り組みを進める。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。			
			A-4	・人材バンク、共同FDSD、人事交流	・第1期QSPにおいて構築した人材バンクで参画校の教職員を登録し、地域の教育活動、地域活動の活性化のための人材派遣など支援を行ってきた実績を踏まえ、地域からの多様なニーズに応えるため、ニーズオリエンテッドな人材バンクの活用拡大を目指し、他のWGとの連携・協働を行う。 ・プラットフォーム事業の趣旨を徹底し、QSP参画校の教職員協働での事業推進を図るための共同FD・SDを計画的に実施する。 ・QSP参画校間および組織間での教職員の人事交流(非常勤講師の派遣を含む)を活発に行っていく。	[人材バンク] QSP人材バンクを活用した人材派遣として、各種の研修会、講習会、公開講座等へ25件(12月末時点)の実績である。本年度、人材データベースを「教育改革プロジェクト」、「SDGs推進プロジェクト」、「国際交流プロジェクト」の3分野に整理し、登録教職員数は45名で公開を行った。 [共同SDFD] ① R5.9.6(水)「自己点検評価を通じた教職課程の質保証」長崎国際大学における自己点検評価報告書の作成プロセスと今後の課題(オンライン開催) 主催:長崎国際大学 ② R5.9.19(火)「数理・データサイエンス・AI」DXによる大学教育の質的転換(オンライン開催) 主催:長崎総合科学大学、長崎国際大学 ③ R5.9.21(木)「産学官連携による共同研究の進め方」(オンライン開催) 主催:西九州大学・短期大学部 ④ R5.12.7(木)「デジタル人材育成への一歩」(オンライン開催) 主催:西九州大学・短期大学部	・第2期QSPの体制に合わせ、3分野に再構成した人材バンクで参画校の教職員を登録し、これまで地域の教育活動、地域活動の活性化のための人材派遣など支援を行ってきた実績を踏まえ、地域からの多様な要望に応えるため、ニーズオリエンテッドな人材バンクの活用拡大を目指し、他のWGとの連携・協働を行う。 ・プラットフォーム事業の趣旨を徹底し、QSP参画校の教職員協働での事業推進を図るための共同SD・FDを計画的に実施する。 ・QSP参画校間および組織間での教職員の人事交流(非常勤講師の派遣を含む)を活発に行っていく。	・人材バンクの登録人材情報更新を行う。 ・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための周知を行っていくとともに、関係団体と連携しながら取り組みを推進する。 ・本年度実施する共同SD・FDのテーマ、内容、実施方法等について検討し実施計画を作成する。	・人材バンク事業の充実を図り、地域の教育活動等へ利用促進のための活用策の提案、周知を行っていくとともに、関係団体や他のWGと連携しながら取り組みを進める。 ・実施できる共同SD・FDを順次、展開し、本事業の目的の実現に向けた検討を継続する。	・取り組みを継続し、本年度の事業の振り返りとまとめを行う。 ・次年度へ向けた計画の策定。			
			A-5	・共同IR	プラットフォーム事業を推進するに当たり、参画校の教学に関する情報を集約、分析し、各WGが事業計画作成等に活用するための基礎資料作りを行うとともに、活動中に得られた情報を共有・公開する。	これまで継続して、QSP連携校での共同IR調査を実施し情報公開を行ってきた。R3(2021)年度、共同IR調査を実施し、IR資料のデータを全連携校より提供を受け、情報を集約整理し、更新したデータをQSP公式サイトにて情報公開を行った。今年度は、第2期QSPがスタートし、連携校の学長による評価、分析コメントの取りまとめを行い、QSPとしての強みと課題の共有、それらに対する取り組みを進めている。	・プラットフォーム事業を推進するに当たり、参画校の教学に関する情報を集約、分析し、各WGが事業計画作成等に活用するための基礎資料作りを行うとともに、活動中に得られた情報を共有・公開する。	・共同IRのデータ更新のための調査を参画校で行う。	・共同IRのデータの集計、更新の作業を行う。	・更新データを取りまとめ、公開及びQSP参画校内で情報共有する。	・共同IRデータの活用について検討する。 ・次年度へ向けた計画の策定。		
			B-1	・「地域創生支援リーダー育成入試」	QSP構成大学・短期大学が参画できる事業へと見直しを図る。 WGのもと、以下のプロジェクトチームを編成し、事業の見直し・継続の是非を検討。必要に応じWG全体会議を年3回程度、各PTを4回程度実施。進捗管理・自己評価を行う。 ・域内進学促進PT:構成大学・短大の入試募集担当で編成。「地方創生支援リーダー育成入試」の継続を含め、共同入試制度の運営、学生募集活動、高大連携事業について検討 ・地方創成人材育成PT:構成大学・短大の就職・キャリア支援担当者、自治体、産業界で編成。就職試験対策講座、合同企業説明会等の企画運営。 ・リケジョ事業PT:西九州大学、佐賀大学、佐世保高専、長崎国際大学により編成。「リケジョプロジェクト」を企画運営。女子中高生の理系進路選択支援プログラムの(JST採択事業)推進。	令和5年度応募者数7名、合格者1名、入学者ゼロ。令和6年度募集のため3校共同パンフレットの作成、学校訪問を実施。長崎国際大学では、学内共同入試要学生規程の見直しなどを行った。	QSP構成大学・短期大学が参画できる事業へと見直しを図る。 WGのもと、以下のプロジェクトチームを編成し、事業の見直し・継続の是非を検討。必要に応じWG全体会議を年3回程度、各PTを4回程度実施。進捗管理・自己評価を行う。 ・域内進学促進PT:構成大学・短大の入試募集担当で編成。「地方創生支援リーダー育成入試」の継続を含め、共同入試制度の運営、学生募集活動、高大連携事業について検討 ・地方創成人材育成PT:構成大学・短大の就職・キャリア支援担当者、自治体、産業界で編成。就職試験対策講座、合同企業説明会等の企画運営。 ・リケジョ事業PT:西九州大学、佐賀大学、佐世保高専、長崎国際大学により編成。「リケジョプロジェクト」を企画運営。女子中高生の理系進路選択支援プログラムの(JST採択事業)推進。	WG全体会議第1回:前年度事業振り返り・次年度方向性確認	・域内進学促進PT第1回:共同入試・募集活動の実施検討 ・地方創成人材育成PT第1回:地域人材ニーズの把握・協働プログラム企画	・域内進学促進PT第2回:高大連携事業の企画・運営・振り返り ・地方創成人材育成PT第2回:協働プログラム進捗報告	・域内進学促進PT第3回:高大連携事業の企画・運営・振り返り ・地方創成人材育成PT第3回:協働プログラム進捗報告	・域内進学促進PT第4回:事業振り返り・次年度事業計画策定 ・地方創成人材育成PT第4回:事業振り返り・次年度事業計画策定	
			B-2	・合同グループ面接講座		前回はR4.12.3実施、次回R6.9実施予定							
			B-3	・合同企業説明会		R5.9.22 長崎空港ビルディング(株)見学会を実施							
			B-4	・リケジョ事業		佐賀大学、西九州大学、長崎国際大学、佐世保高専4校合同の「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」にて、実験体験会等を企画、実施 R5.8.4(金)リケジョ集まれ!サマーサイエンス! R5.8.30(水)ようこそサイエンスの世界へ(香崎市石田中) R5.11.19(日)合同の実験体験会「リケフェス2023」 R5.12.23(土)海きららバックヤード見学ツアー							

## 令和6年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画				令和5(2023)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和6(2024)年度事業計画	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.								事業の概要	
SDGs推進プロジェクト	⑧ 共同公開講座の実施(年5件以上) ⑨ 健康増進事業の実施(期間中に10件以上) ⑩ 自治体、地場産業、地場企業からの課題解決にかかる受託事業等(期間中に5件以上) ⑪ 自治体、地場産業、地場企業とのWGの組成(期間中に5件以上) ⑫ 施設・設備の共同利用による取組の実施(期間中に10件以上) ⑬ 初中等教育関連教材の開発(期間中に4本以上) ⑭ 初中等教育関連支援活動の実施(期間中に10件以上)	C・リカレントWG(龍谷)	C-1	・リカレント	・各大学主催のリカレントに関する講座の取りまとめと広報活動の実施 ・リカレント公開講座「スマホアプリ作成」の実施 ・社会人向けキャリア形成支援セルフ・キャリアドック面談の実施	・各大学主催のリカレントに関する講座の取りまとめと広報活動 「社会人キャリア形成プログラム講座」 「社会人向けキャリア形成支援」		「社会人キャリア形成プログラム講座」 「社会人向けキャリア形成支援」	「社会人向けキャリア形成支援」	「社会人キャリア形成プログラム講座」		
			C-2	・ICT教育	・実用ドローン関連講座	大学リカレント教育推進事業(ドローン講座)	・実用ドローン関連講座		実用ドローン関連講座			
			C-3	・データサイエンス教育	加盟各校のデータサイエンス教育への取り組み状況の調査と「数理・データサイエンス・AI教育」実施校としての認定を目指す。	第2回 QSP 共同 FD・SD 「数理・データサイエンス・AI」講演と各大学の取り組み状況について(長崎総合科学大学、活水女子大学、長崎外国語大学、鎮西学院大学、長崎国際大学、長崎短期大学)2023年9月19日  現在、QSP参画校のうち6校は認定。	加盟各校のデータサイエンス教育への取り組み状況の調査と「数理・データサイエンス・AI教育」実施校としての認定を目指す。	加盟校の状況調査		各校担当者の勉強会		
			D・短大系WG(佐女)	D-1	・キャリア教育(短大フェス)	職業・キャリア教育を中心とした教育内容についての調査研究 短大生の特徴に合わせた職業・キャリア教育プログラムの自己評価(課題の抽出等)／評価からの改善	短大フォーラム等を参考に、別の新たな形でのキャリア教育を検討する。	・キャリア教育(短大フェス)	・リーダーシップ研修(短大フォーラムin九州)を実施 ・研究会の開催	・リーダーシップ研修(短大フォーラムin九州)の振り返り ・事後指導	・次年度のプログラムに関する協議	・まとめ
		D-2		・短大共同IR	在学生調査、卒業時調査、卒業生調査、就職先調査、高校調査等を実施し、IR活動の基盤となるデータを蓄積／共通IR活動の母体拡大を模索する(共通調査実施校の拡大に向けて動く)	R6.1-3: R5 在学生調査(短大WG)、R6.1-3: 卒業生調査(短大WG)	・短大共同IR	・データ分析担当者を中心に集計	・データ分析担当者を中心に分析	・在学生調査、就職先調査実施	・卒業時、卒業生調査の実施 ・まとめ	
		D-3		・広報力・教育力	FDSD研修、教職員の人事交流	短大系FDSDの実施 ・9/13「インクルーシブ教育」 ・9/29「短期大学のディプロマ・サブリメント」人事交流 ・西九州短期大学部(教員)⇒長崎短期大学	・広報力・教育力	・実施内容の協議、日程調整	・FD/SD研修会を開催	・今後の実施内容協議	・まとめ	
		E・健康・福祉推進WG(西九)	E-1	・ウォーキングで健康イノベーション	「ウォーキングで健康イノベーション」事業概要、事業計画名のもと、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2023in佐賀」(仮称)の開催 ・佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク」(仮称)の開催	令和5年12月3日、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀県とのコラボによる「QSP健康ウォーク2023in佐賀」を開催し、史上最高の327名の一般の市民の参加者があった。	史上最高の参加人数と高校生ボランティアとなった令和5年度の経験を活かし、「ウォーキングで健康イノベーション」事業概要、事業計画名のもと、連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク2024in佐賀」(仮称)の開催 ・佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク」(仮称)の開催	SDGs推進プロジェクト連携校との「QSP健康ウォーク2024in佐賀」(仮称)の開催に伴う関連講座の開催の有無を連携校、協力自治体や佐賀商工会議所連合会等と検討する	予算参画校や協力組織の状況を把握しながら、「QSP健康ウォーク2024in佐賀」(仮称)の開催に伴う関連講座の開催の有無を連携校、協力自治体や佐賀商工会議所連合会等と検討する	連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク2024in佐賀」(仮称)の開催準備および開催(12月予定)	連携大学、短期大学、佐賀県内の高校生ボランティア、佐賀県商工会議所連合会各種企業および佐賀市とのコラボによる「QSP健康ウォーク2024in佐賀」(仮称)の成果のまとめと次年度に向けた計画作成	
					E-2	・福祉教育フェスティバル	九州西部地区福祉教育推進事業「2023 福祉教育フェスティバル」 ・2022年度の既存計画を連携事業として開催。事業推進のコアとなる組織の広域化を推進する。佐賀・長崎と連動した具体的また効率的な連携事業企画としてブラッシュアップする。	「2023 福祉教育フェスティバル」を11月25日(土)本学で開催計画。当日の録画映像を、編集制作中。関係校や教育機関に録画DVDを配布する予定である。また、発達障害の専門家を講師として招聘し、県内福祉系高校、大学、高校、福祉団体などで、構成する「長崎県福祉教育研究会」で2024年2月に勉強会を計画している。	事業形態を変更するため、予算化しない。			
			F・地域産業振興WG(総)	F-1	・観光・まちづくり事業	地域の観光・まちづくりに関するコンテストやセミナーを開催する。修学旅行向けの研修素材を検討する。	「クルーズ寄港地プランコンテスト」企画・協議。'24年度実施に向け、観光クルーズ船寄港地に係る企画、協議を産学官で実施(11/21 郵船クルーズ㈱、佐世保市港湾部、1/20 ㈱ジャパネットトイズ)	地域の観光・まちづくりに関するコンテストやセミナーを開催する。修学旅行向けの研修素材を検討する。	コンテスト・セミナー準備、修学旅行の需要調査	コンテスト募集と1次審査、セミナー開催、研修素材検討	コンテスト2次審査、セミナー成果報告、研修素材の提案	コンテスト成果発表、研修素材提案の見直し
				F-2	・地場産業振興(窯業他)	波佐見地区の産業振興を支援する。地元企業・団体と連携して、課題解決型事業を展開する。	ドローンによる生地輸送の実証実験を行った。	ドローンを用いた生産管理計画をたて、実証実験を行う。	ドローンを用いた生産管理計画の策定。	ドローンを用いた少量輸送の実証実験を行う。	ドローンを用いた生産管理計画の実証実験と評価。	次年度に向けた改善点の検討
				F-3	・創業支援	長崎市内大学ビジネスプランコンテストを開催する。長崎県ビジネスプランコンテストの予選も兼ねる。	8月11日に開催し、終了した。	長崎市内大学ビジネスプランコンテストを開催する。長崎県ビジネスプランコンテストの予選も兼ねる。	ビジコン準備	学内ビジコン実施	県ビジコンへの参加	次年度に向けた改善点の検討
				F-4	・小中学生向け体験教室	ものづくりやプログラミングの体験兼教室を開催する。	8月11日に開催し、終了した。	ものづくりやプログラミングの体験兼教室を開催する。	体験教室の準備	体験教室への参加者募集と実施	体験教室の評価	次年度に向けた改善点の検討
G・子ども育成WG(長短)	G-1		・共同研究「幼児教育等家庭支援」	・共同研究「幼児教育・保育現場における家庭支援に関する研究」	昨年度の調査研究で得られたデータを修正し、統計的な分析を行う予定である。また、保育士を対象としたインタビュー調査や子どもの行動観察等を実施し、昨年度のデータと合わせて考察し、その結果をもとに事業報告書を作成する予定である。	令和6年度に追加で実施した保育者へのインタビュー調査と子どもの行動観察の本調査を実施する。また、昨年度作成した事業報告書をもとに、学会発表や地域の保育所に報告会等を実施していく予定である。	保育者へのインタビュー調査・子どもの行動観察等の本調査の準備。学会発表に向けての準備。地域への報告会に向けての準備。	保育者へのインタビュー・子どもの行動観察の結果の分析。学会発表の実施。	保育者へのインタビュー・子どもの行動観察の結果の考察。事業報告書の作成。			
	G-2		・子ども発達支援士養成プログラム	・子ども発達支援士養成プログラム	各連携校の卒業研修は終了した。	・子ども発達支援士養成プログラム(卒業研修・リカレント教育)の実施。大学コンソーシアム佐賀を構成する(放送大学を除く)5つの連携校にて研修日程を調整して実施。	・子ども発達支援士養成プログラム(卒業研修・リカレント教育) > 研修日程の決定 > R6年度生募集	・子ども発達支援士養成プログラム(卒業研修・リカレント教育)の実施状況について、必要であればWG等と情報共有。 ・卒業研修の実施	・子ども発達支援士養成プログラム(卒業研修・リカレント教育) > 報告 & 次年度方針協議			
	G-3	・子ども育成リレー公開講座	・第4回子ども育成フォーラムの開催 共同公開講座開催に向けた調査の実施。	子ども育成WG第2回会議にて、リレー公開講座について企画検討した。(3月4日)	子ども育成に関わるテーマを設け、子ども育成WG参画校で公開講座をリレー形式で開催する。	令和6年度第1回 子ども育成WG会議 案内チラシ完成 参加者募集開始	リレー講座実施 アンケート調査	アンケート集計(子ども育成団体・行政も交えた検討会)	R7年度計画			

## 令和6年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画				令和5(2023)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和6(2024)年度事業計画	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.								事業の概要
国際交流プロジェクト	⑩留学生支援事業の実施(期間中に5件以上) ⑪留学生交流事業の実施(期間中に5件以上)	H・留学生支援WG(外大)	H-1	<p>【留学生受入れ支援】</p> <p>A: 共同学生募集 ・共同多言語パンフを作成しHPIに掲載 ・海外共同学生募集活動の展開(現地日本語教育機関等) ・在学生・卒業生サポーターによる各大学等のPR発信(サポーターに報酬支弁)</p> <p>B: 域内進学促進 ・域内進学時転居費用一部助成</p>	<p>1 計画案の精査(WG)</p> <p>2 実施案の検討(WG)</p> <p>3 試行的実施</p>	<p>A① 各大学等の留学生募集情報を集約し、HPIに掲載した。 <a href="https://www1.niu.ac.jp/platform/1952.html">https://www1.niu.ac.jp/platform/1952.html</a></p> <p>A② 海外事業は未着手だが、国内での事業として鎮西学院大が主管となり9/14に福岡市(九州英数学館)で共同進学説明会を実施、QSP構成7大学等が参加し、約60名の外国人留学生に大学説明を実施した。</p> <p>B 域内進学促進支援についてはWG会議で検討したが、財源の確保に向けてまずはQSP事務局と折衝を行っていくこととした。</p> <p>また計画外事業として12/19に「研究マネジメント人材養成QSP合同SD兼第5回長崎県内大学等安全保障貿易管理勉強会」を長崎外国語大にて実施(標記勉強会の幹事校である長崎大との共同開催)。各大学の安全保障貿易管理担当者12名が参加し、留学生の受入れ時における法令上の遵守事項等について理解を深めた。</p>	<p>A 海外共同学生募集の実施</p> <p>A-1 実施案の検討</p> <p>A-2 試行的実施</p> <p>A-3 振り返り</p> <p>B 域内進学時転居費用一部助成の検討</p> <p>B-1 QSP事務局との折衝</p> <p>B-2 実施案の検討</p>	A-1 実施案の検討(WG会議)	A-1 実施案の検討(実施担当校の準備)	A-2 試行的実施	A-3 振り返り(次年度事業計画の策定)
			H-2	<p>【日本語教育支援】</p> <p>A: 日本語教育ピアサポーターの育成(サポーター育成講座の実施とQSP大学等間横断的派遣制度構築、サポーターに報酬支弁)</p> <p>B: 日本語教育リソース共同開発 ・当該リソースの単位互換科目化 ・社会へのフィードバック(MOOC)</p>	<p>1 計画案の精査(WG)</p> <p>2 配分予算に係る協議(QSP)</p> <p>3 実施案の検討(WG)</p> <p>(4 試行的実施)</p>	<p>A WG会議での検討を経て、「長崎外国語大の日本語教員養成課程をコアとした留学生オンラインピアサポート」を柱とする方針を策定した。着手・試行実施は次年度以降となる。</p> <p>B 上記Aと同様にWG会議でQSP事業化できるような各大学等の既存シーズがないかの照会を行ったが、該当はなかった。</p>	<p>A 留学生オンラインピアサポートの実施</p> <p>A-1 実施案の検討</p> <p>A-2 試行的実施</p> <p>A-3 振り返り</p> <p>B 日本語教育リソース共同開発の再検討</p> <p>B-1 中期計画の修正検討</p> <p>B-2 中計修正案のQSP全体会議上程</p> <p>B-3 実施案の検討</p>	A-1 実施案の検討(WG会議)	A-1 実施案の検討(実施担当校の準備)	A-2 試行的実施	A-3 振り返り(次年度事業計画の策定)
			H-3	<p>【国内キャリア形成支援】</p> <p>A: 佐賀県・長崎県内企業とQSP内留学生とのマッチング促進 ・留学生スカウトイベント ・卒業生による企業PR発信(QSP外の大学等への展開も検討)</p> <p>B: 佐賀県・長崎県内企業卒業生の定着促進支援(定着阻害要因の分析、課題解決のための共同講座等の実施)</p>	<p>1 本事業への行政・経済団体の参画に向けた合意形成</p> <p>2 計画案の精査(WG)</p> <p>3 実施案の検討(WG)</p> <p>(4 試行的実施)</p>	<p>A・BともにWG会議での実施案の検討を行ったが、方針策定にまでは至らず。次年度以降の継続検討となった。</p>	<p>A・B 国内キャリア形成支援事業の検討</p> <p>1 行政・経済団体との合意形成に向けた検討(WG会議)</p> <p>2 QSP事務局との折衝</p> <p>3 実施案の検討</p>	1 行政・経済団体との合意形成に向けた検討(WG会議)	2 QSP事務局との折衝	2 QSP事務局との折衝	3 実施案の検討(次年度事業計画の策定)
			H-4	<p>【国外キャリア形成支援】</p> <p>A: QSP大学・短大の学修歴証明の国際通用性担保(デジタル証明発行システム導入と事務共同化)</p> <p>B: 母国内同窓会の組成(卒業後紐帯維持、佐賀県・長崎県の魅力発信の担い手、上記C-1「サポーター」への循環も)</p>	<p>1 計画案の精査(WG)</p> <p>2 配分予算に係る協議(QSP)</p> <p>3 Aのシステム化に向けた検討(WG)</p> <p>(4 試行的導入と運用)</p> <p>※Bについては計画案精査まで。実際の組成は中計2~3年目以降で検討</p>	<p>A デジタル証明発行システムについてWG会議での検討を経て9/5及び9/28のQSP全体会議で検討を行った。当該両会議では「費用対効果を含めた総合的検討が必要」「産業界からの支援取り付けも含む財源確保策が必要」といった指摘があり、継続審議となった。</p> <p>B 海外同窓会組成については、WG会議において長崎外国語大上海教育事務所を拠点に同窓会イベント実施を企画する方針を決定したが、同窓会の組成を佐賀・長崎地域の魅力発信に如何に繋げていくかの方策の検討に時間を要している状況である。</p>	<p>A デジタル証明発行システムの継続検討</p> <p>A-1 課題解決策の検討</p> <p>A-2 QSP事務局との折衝</p> <p>A-3 QSP全体会議への再上程</p> <p>B 海外同窓会イベントの実施</p> <p>B-1 実施案の検討</p> <p>B-2 試行的実施</p> <p>B-3 振り返り</p>	A-1 課題解決策の検討(WG会議)	A-2 QSP事務局との折衝	A-2 QSP事務局との折衝	A-3 QSP全体会議への再上程(3月事業推進協議会)
	I・留学生大交流WG(西短)	I-1	・ACC(アジアンコミュニティカフェ)	R5.12.9アジア屋台村祭り(アジアン・エスニック料理) 場所: どんとどんの森(佐賀市天神3丁目2) 参加大学: 西九大、西九短大、佐賀女子短大	1 本事業実施に向けた合意形成	R5.10.29(土)佐賀国際フェスタ出展(西九短、九州龍、佐賀女子) 場所: 神埼市	1 本事業実施に向けた合意形成 2 配分予算に係る協議 3 企画書提出 4 企画の実施 5 報告書の提出 6 次年度に向けた企画提案 7 「QSP異文化理解教室: 小学生と留学生との交流」の継続実施(唐津市、佐世保市)	・本事業実施に向けた合意形成 ・企画の実施 ・異文化交流教室の実施準備 ・異文化交流教室資料等の作成 ・異文化交流教室アンケート作成	・企画書提出 ・企画の実施 ・異文化交流教室の実施準備 ・異文化交流教室資料等の作成 ・異文化交流教室アンケート作成完了	・企画の実施 ・異文化交流教室の実施 ・異文化交流に係る各大学、短大からの参加留学生の確認 ・異文化交流教室アンケートの実施	・各実践のまとめ ・活動報告作成、次年度の方針報告書の提出 ・異文化交流教室に係る報告書の作成(実践校合同) ・各実践にかかるアンケートの集計と検証
	I-2	・異文化理解教室	異文化理解教室(国際大、西九短、西九大) 6/23.1/16三川内小、10/24.12/12広田小、11/16九文高、2/29うつぼ木小								
	I-3	・英語イメージデイキャンプ	R6.2.13 中学生英語イメージ講座(外大、鎮西、総科大) 場所: 長崎県新上五島町								
	I-4	・佐賀国際フェスタ									

## 令和6年度事業計画ロードマップ(進捗状況と今後の予定)

中期計画					令和5(2023)年度事業計画	現在までの進捗状況	令和6(2024)年度事業計画	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
課題分野名	課題の数値目標	WG名	No.	事業の概要							
中期計画策定・点検評価委員会	①各プロジェクト及びワーキンググループにおける指標達成の管理と評価を行う。 ②中期計画全体の進捗管理と評価(各年度に実施、中間評価を3年目に実施し、最終評価は最終年度に実施する)	中期計画の策定	J-1	中期計画を取りまとめる	令和4年度事業推進協議会等で協議、策定。第2期計画をスタートさせ、第3期視野に入れながら適宜修正を図る。	5校の退会により12校、3自治体、2経済界、計17参画機関の新体制でWGを再編し、第2期中期計画をスタートすることができた。	第2期中期計画初年度である令和5年度の実績、取組状況を確し、第3期を視野に入れながら適宜修正を図る。	事業実施状況記録・確認	同左	同左	同左
		中期計画の進捗管理	J-2	中期計画に記載した各事業について、ワーキンググループと連携して、進捗状況を把握・管理する。	第2期中期計画初年度の進捗、目標管理を行う。	R5.10 私立大学等改革総合支援事業タイプ3申請 R5.12 第1期最終年度令和4年度の係数を確認(学校基本調査等)	第2期中期計画2年度の進捗、目標管理を行う。	事業実施状況記録・確認	同左	同左	同左
		中間報告書の作成	J-3	中間外部評価を受けるための中間点検評価報告書を取りまとめる。	中間報告書作成に備え、初年度実績を取りまとめる。	R5.6 第1期QSP報告書を取りまとめ、外部評価委員会に報告、QSPウェブサイトへアップした。中期計画第2期中期計画初年度、新体制、新WGの実績を取りまとめた。	中間報告書作成に備え、令和5、6年度実績を取りまとめる。	中間報告書(R5-7)作成のため実績とりまとめ	同左	同左	同左
		最終報告書の作成	J-4	最終外部評価を受けるための最終点検評価報告書を取りまとめる。	最終報告書作成に備え、初年度実績を取りまとめる。	同上	最終報告書作成に備え、令和5、6年度実績を取りまとめる。	中間報告書(R5-7)作成のため実績とりまとめ	同左	同左	同左
		外部評価の実施	J-5	外部評価の企画・準備・対応を行う。	外部評価を受けるため、各WGの自己評価を取りまとめる。	第1期から引き続き第2期も外部評価委員就任を依頼。令和5年7月3日令和5年度外部評価委員会を開催し、令和4年度の活動実績を評価いただいた。	外部評価を受けるため、各WGの自己評価を取りまとめる。	外部評価委員会の開催準備	外部評価委員会開催	外部評価委員には会議資料等適宜進捗を報告	同左
		中期計画の改定	J-6	事業の進捗により中期計画の修正が必要になった場合に、改定作業を行う。	第2期中期計画の事業進捗、参画機関の動きに合わせ、適宜協議のうえ改定する。	改訂事項なし	第2期中期計画の事業進捗、参画機関の動きに合わせ、適宜協議のうえ改定する。	同左	同左	同左	同左
		次期計画の検討	J-7	本中期計画の終了後の事業の継続・発展のための次期計画について検討を行う。	各年度の事業実績について、課題を確認しながら次期中期計画策定に備えていく。	第2期中期計画初年度、新体制、新WGの実績を取りまとめた。	各年度の事業実績について、課題を確認しながら次期中期計画策定に備えていく。	同左	同左	同左	同左
プラットフォーム事業全体					新たにスタートする第2期中期計画の体制定着を図りながら、令和5年度事業を実施する。		新たにスタートした第2期中期計画の進捗状況を見ながら、令和6年度事業を実施する。	会計監査(龍谷、鎮西)会費100万円/私立校、WGへ再委託	外部評価委員会開催 令和6年度改革総合支援事業申請準備	令和6年度改革総合支援事業申請	令和6年度自己評価、令和7年度事業計画、予算策定